



地震や台風に対して どれだけ強い建物を作れるかが 研究課題

これまであまり建築に使われてこなかった
沖縄の樹種ウラジロガシやチャージが
首里城の再建に使われることになりました。
現在それらの強度を調査中です。



工学部 工学科 建築学コース 教授

カストロ ホワン ホセ
Castro Juan Jose

〔学 位〕筑波大学 博士（工学）
〔専門分野〕建築構造学

医学部 保健学科 病態検査学講座 教授

福島 卓也
Fukushima Takuya

〔学 位〕長崎大学 博士（医学）
〔専門分野〕血液免疫検査学

臨床検査技師を育成するコースの担当教員であり、沖縄県に感染者が多いHTLV-1を原因ウイルスとする血液悪性腫瘍の一つ成人T細胞白血病（ATL）という病気に関する分子生物学的な研究を手掛けています。
2012年に琉大に赴任し、一番最初に手掛けたのが、将来の研究に役立てるため、沖縄県内の血液内科医、そして患者さんにご協力いただき収集した末梢血、リンパ節から得たATL細胞を凍結保存するパイオバンクの構築です。
今このパイオバンク検体を用いた研究の成果が次々と発表されています。

それぞれの視点と技術で補完し合いながら ATLの病因の解明とウイルスの撲滅に 突き進んでいく

大学院医学研究科及び医学科 細胞病理学講座 教授

加留部 謙之輔
Karube Kennosuke

〔学 位〕九州大学 博士（医学）
〔専門分野〕細胞病理学

病気はどうやって発生するのか。この疑問に答えるため、病変組織を直接顕微鏡で「見る」ことによって病気のメカニズムの解明に力を注いでいます。
中でもATLは私の研究テーマの大きな柱になっていて、福島先生が8年かけて集められたパイオバンクのサンプルと僕たちが顕微鏡で見ている病変組織をひとつひとつ比較しながら丁寧に解析することで、ようやく世の中に受け入れられ成果を出すことができました。

